

協議事項 3

小方橋架け替え工事に伴うこいこいバスルート及びダイヤの変更について（案）

1 経緯

広島県が実施する小方橋架け替え工事・道路改良工事に伴い、令和7年4月中旬から令和9年3月頃までの約2年間、小方橋が通行止めとなる予定であるが、こいこいバスが小方橋を通るルートとなっていることから、ルートの変更を行う必要がある。

あわせて、ルート変更に伴い、ダイヤも変更となる。

2 案の趣旨

こいこいバスのルート及びダイヤを変更することについて承認を求めるもの。

（資料2、3、4-1、4-2、5-1、5-2、5-3）

3 変更の概要

<ルート>

- ・ルートについては、運行事業者2社、大竹警察署及び土木課と協議を行っている。
- ・小方橋が通行止めとなることから、飛石港バス停が使用不可となる。
- ・利用者の混乱を避けるため、停留所の順番を現行どおりとしたため、一部大回りとなるルートとなった。
- ・今回のルート変更は、御園大橋～おがたピアまでとなる。
なお、大竹駅～御園大橋、おがたピア～玖波駅のルートは従来どおり。
- ・小方港バス停については、ルートの関係上、岩国側（港待合所に近い方）のバス停のみの使用となる。

<ダイヤ>

- ・ダイヤについては、運行事業者2社と協議を行っている。
- ・ルート変更に伴うダイヤの変更のほか、より安全な運行となるよう、従前のルート部分についても一部ダイヤの変更をしている。
- ・従前では、大竹駅と玖波駅の所要時間を25分としていたが、大竹駅から玖波駅方面行の所要時間を32分、玖波駅から大竹駅方面行きの所要時間を28分としている。
- ・これにより、バス停での発着の間隔は40分又は60分間隔から「40分～50分間隔」となる。
- ・玖波駅の待機時間を15分から3分に縮小した。この3分は、交通渋滞等で発生した遅れなどの調整に充てることとした。その分、大竹駅での待機時間を15分から22分に増やし、運転士の休憩や次発便の準備時間等に充てることとした。
- ・なお、便数については従前どおり大竹駅方面行き17便、玖波駅方面行き17便としている。

<その他の変更（予定含む）>

- ・行先については「大竹駅行き」「玖波駅行き」から「大竹駅方面行き」「玖波駅方面行き」に変更する。
- ・フランス、パリのユネスコ本部で行われたベルサイユ賞の美術館・博物館部門で、下瀬美術館が「世界で最も美しい美術館」に選ばれたことから、国内のほか、世界各地から観光に訪れる外国人も増えてきている。
そのため、運転士に最寄りのバス停等を聞かれる方が増えており、運転士の負担が大きくなっていると運行事業者から要望があったため、ゆめタウン停留所におけるバスの音声案内等について、変更を予定している。
- ・バス停留所の表示については、小方橋架け替え工事終了時に再度ルート、ダイヤが変更となることから、今回は最小限の補修にとどめる。

4 変更年月日

令和7年4月14日（月）から令和9年3月頃まで

※ただし、工事の進捗状況等により、変更が生じる可能性がある。